

令和8年度 第5回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和8年8月6日(木) 13:30~15:00

2 場 所 大学本館1号館4階 1401室

3 出席者(13名)(敬称略、選出区分順)

学内:石丸、長田、中田、足立、澤田、樫本、森本、石田尾、宗

学外:櫻井、安元、田中、早川

欠席者(2名)

学内:東、藤野

学外:なし

4 報告事項等

(1) 令和8年度 第5回迅速審査小委員会について

石丸迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査3件について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認とした旨の報告があった。

○新規申請(迅速審査)

① 研究責任者: 産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 石上 温

研究課題名: 保護具着用管理責任者の現状の調査と支援ツールの開発

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀

研究課題名: 救急救命士の急性的なストレス経験や役割曖昧性などの労働因子や社会的背景因子とバーンアウト等との関連について

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者: 産業医科大学病院 病理部 技師 伊藤 理左

研究課題名: 唾液腺穿刺吸引細胞診における細胞学的・組織学的検討

審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

5 審議事項等

(1) 令和8年度 第4回 産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請(個別審査)

① 研究責任者: 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 准教授 李 云善

研究課題名: 産業化学物質の発がん性評価に資する尿中のDNA付加体分析

審査要旨: 審査の結果、「継続審査」とする。

[指摘事項]

○全体

・研究計画の内容について記載が不足している箇所があるため、研究内容を具体的に記載する。

・産業化学物質の定義が不明確であり、研究デザイン及び研究内容について更なる整

理が必要であるため、十分に検討のうえ計画書を見直す。

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画

- ・事業所から資料及び情報提供を受ける旨の記載がないため、追記する。
- ・ばく露する化学物質の種類によっては、健康診断とは異なる時期に試料を採取する
場合がある旨を追記すること。

5. 研究対象者の選定方法

- ・ばく露群及び比較群の対象者数を記載するとともに、対象者の選定基準を明記する。

17. インフォームド・アセントを受ける場合の手続方法について

- ・「□無」を選択する。

○説明文書

- ・事業所から資料及び情報提供を受ける旨の記載がないため、追記する。
- ・ばく露する化学物質の種類によっては、健康診断とは異なる時期に試料を採取する
場合がある旨を追記する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて 7-1. 研究対象者の利益について

- ・研究対象者の利益については、研究計画書の記載に合わせ、「自身の酸化ストレスのレベルを知ることができ、がん予防を目的とした生活習慣の見直しに役立てることができると考えられる」に修正する。

○生活習慣 労働条件等に関する質問票

- ・取扱化学物質の種類や取扱時間等、研究目的に沿った内容となるよう質問項目を見直す。

- ② 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹
研究課題名： 顔表情(音声)を用いた労働者のメンタルヘルス状態推定システムの開発
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・学生を研究対象者から除外する旨を追記する。

19. 研究対象者の経済的負担及び研究対象者への謝礼の有無とその内容

- ・謝礼の支給条件として、2週間以上のデータ取得が行われた場合に限る旨を記載する。

○参加される方への説明文書

- ・研究課題名に「ヘルス」を追記する（同意書、同意撤回書についても同様）。
- ・「7-3 研究対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策について」では、個人情報と質問紙が関連付けられているように読める一方、「12. 個人情報の取扱いについて」では無記名の質問紙と記載されているため、参加者に誤解を与えない表現に修正する。
- ・参加者が研究への参加方法を分かりやすく理解できるよう、必要に応じてポンチ絵

を追加する。

○参加者募集ポスター

- ・学生を対象外とする旨を追記する。

- ③ 研究責任者： 産業保健学部 成人・老年看護学 助教 森園 久美
研究課題名： 中高年就労者における心理社会的ストレスと唾液オキシトシン濃度の関連
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画

- ・全体説明会を行ったうえで、文章による説明は個別に行う旨を記載する。

4. 実施計画 b) 研究の具体的方法

- ・佐賀大学での身分において、佐賀大学の施設で解析を行う旨を追記する。

5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・選択基準について、「50 歳以上で働いている方」に修正する。

23. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法

- ・「☐委託無」を選択する。

○質問紙

- ・生年月日について、生年月までの記載とし、日付は収集しない。
- ・【身体的負担】の 1.5「思い」を「重い」に修正する。

○他の研究機関への資料・情報の提供に関する（申請・報告）書

- ・様式を削除する。

(2) 新規申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 白石 祈枝
研究課題名： 看護学生の臨床判断能力を育成する学習支援システムの開発
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方法 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・「適格基準」を「選択基準」に修正する。

12. 研究費の資金源と利益相反について 3) 知的財産権の発生について

- ・知的財産権を共同研究機関へ帰属させない理由を確認のうえ、必要に応じて記載内容の修正を検討する。

19. 研究対象者の経済的負担及び研究対象者への謝礼の有無とその内容

- ・謝礼について、予備調査と本調査の謝礼金に差があるため、謝礼は時間的負担等に対する補償という観点から、予備調査の謝礼額の妥当性を検討のうえ、修正する。

○研究参加についてのお願い

- ・「本研究で使用するデータは、既に入力いただいた」の記載を削除する。

(3) 新規申請（継続審査）

- ① 研究責任者： 医学部 第2病理学 講師 片渕 瑛介

研究課題名： 糸球体腎炎を含む腎疾患における病理学的特徴と予後に関する観察研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○全体

- ・共同研究機関を受診した対象者に対し、産業医大が共同研究機関から病理診断の依頼を受けて業務を行っていることが分かるように記載を修正する。

○研究についてのお知らせ（お子さん向け）

- ・問い合わせ先の氏名にもルビを振る。

(4) 変更申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀

研究課題名： 仕事のストレス要因と生活習慣、仕事の怪我とうつ病の関連

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 永田 智久

研究課題名： NDB を用いた全国的な両立支援実施状況の実態解明

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 准教授 李 云善

研究課題名： 喫煙、受動喫煙の健康影響評価を目的とした尿中バイオマーカーの測定

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 眞

研究課題名： 働く女性の健康に関するインターネット調査

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑤ 研究責任者： 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸

研究課題名： 大分県の就労褥婦を対象とした産後 1 年における尿失禁の概要と労働機能障害の評価

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑥ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚

研究課題名： 障害の有無が労働者のメンタルヘルスに与える影響に関する研究—障害のある労働者と障害のない労働者の比較研究—

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑦ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
研究課題名： 労働現場における騒音リスクの個人ばく露計による評価
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 五十嵐 侑
研究課題名： 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を有する労働者の就労支援に関する調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名： 労働時間に関する希望とその背景が労働者のメンタルヘルスに及ぼす影響に関する縦断研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 研究責任者： 医学部 法医学 教授 佐藤 寛晃
研究課題名： 陳旧死体の腐敗性アミン濃度の検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 講師 谷 直道
研究課題名： 日本予防医学協会が保有する健康データの記述統計及び解析～産業歯科保健データに関する後ろ向き研究～
研究代表機関： 一般財団法人日本予防医学協会
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹
研究課題名： 市販カメラを用いた作業中の筋骨格障害リスクのリアルタイム「見える化」技術の開発
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 助教 北原 一子
研究課題名： 看護系大学教員の職場適応に関する研究
研究代表機関： 福岡県立大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 産業保健学部 人間情報科学 准教授 黒坂 知絵
研究課題名： 実生活での学習場面における緑茶摂取の影響
ー作業成績・フロー体験との関係ー
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方法 2) 研究対象者の目標人数

- ・比較群の追加に伴い、目標人数を修正する。

○研究実施計画書

4. 研究方法 4-4. 目標登録者

- ・比較群の追加に伴い、目標人数を修正する。

- ② 研究責任者： 産業医科大学病院 看護部 看護師 山室 裕理
研究課題名： 完治困難な消化器がん患者の ACP の看護実践に関する実態調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅
研究課題名： 音声感情解析技術を活用した産業保健面談支援モデルの探索的検証 ― 過重労働面談場面における非言語情報提示の有用性・受容性・安全性の検討―
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅
研究課題名： 消防活動時の冷却装置による深部体温抑制効果と熱中症リスク低減に関する研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷 淳子
研究課題名： 効果的なオンライン特定保健指導の実践内容の信頼性に関する質問紙調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

○本学共同研究機関

- ① 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善に関する調査研究
研究代表機関： 北里大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業医科大学病院 リハビリテーション部 技師 杉本 望
研究課題名： Stanford A 型急性大動脈解離術後の患者における早期離床・リハビリテーションの実態と日常生活動作との関連に関する研究
研究代表機関： 日本医療大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

- (1) 研究終了報告 3 件、及び進捗状況報告 23 件について、別紙のとおり承認された。

研 究 終 了 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
SH25-001	白山 理恵	小児科学	助教	学童期血友病児の親の子どもに対する口腔保健行動が子どもの口腔内環境に与える影響
ER25-043	竹内 大樹	安全衛生マネジメント学	助教	情報機器作業時における眼精疲労軽減のための瞬目促進手法の比較検討
R2-020	立石 清一郎	災害産業 保健センター	教授	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の産業保健職の対応に関する調査

研 究 進 捗 状 況 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
H29-135	池ノ内 篤子	精神医学	教授	高ストレスの労働者に対する認知行動スキルを用いたセルフケア教育の実施可能性と有効性に関する研究
R2-027	佐藤 寛晃	法医学	教授	陳旧死体の腐敗性アミン濃度の検討
H29-103	松本 正広	泌尿器科(若松)	助教	難治性尿道炎・子宮頸管炎からの原因微生物の分離、培養および薬剤感受性とその薬剤耐性遺伝子の検出
ID25-009	中谷 淳子	産業・地域看護学	教授	効果的なオンライン特定保健指導の実践内容の妥当性に関する質問紙調査
ID25-022	宮内 博幸	作業環境計測制御学	教授	オルトーフタルアルデヒドの「健康影響とばく露濃度の関係」および「ばく露低減対策」
ER25-054	竹内 大樹	安全衛生マネジメント学	助教	市販カメラを用いた作業中の筋骨格障害リスクのリアルタイム「見える化」技術の開発
ER24-023	榎原 毅	人間工学	教授	バーチャルリアリティ利用中の生体情報によるメンタルヘルス・モニタリング手法の構築 ーHead Mounted Displayによる測定手法の標準化ー
ER24-022	二ツ矢 浩一郎	放射線科学	学内講師	XR (クロスリアリティ) を活用したIVR (画像下治療) の手技および職業被ばくに関する教育プログラムの開発
ER24-024	永野 千景	産業保健管理学	講師	「暑熱環境下における下肢冷却による体温上昇抑制効果の検討」
ER24-028	永野 千景	産業保健管理学	講師	鉄道業における高年齢労働者の安全衛生に関する調査
ID24-007	江口 尚	産業精神保健学	教授	個人事業者等向け職業性ストレス簡易調査票及び評価基準等の開発と、セルフケア等への効果的な活用方策の確立に向けた研究のためのインタビュー調査
IK24-006	藤野 善久	環境疫学	教授	職域における新型コロナウイルス感染に関する血清疫学研究
ER24-021	大河原 眞	環境疫学	講師	不妊治療の保険適用化後の治療実態とその社会経済的背景の疫学的解明: 課題2NDB調査
ID25-008	松垣 竜太郎	作業関連疾患予防学	助教	事業所で実施される体力測定データ等を活用した労働者の健康に関する調査

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER25-038	立石 清一郎	災害産業 保健センター	教授	能登半島地震後の自治体職員の健康影響調査
ER25-040	立石 清一郎	災害産業 保健センター	教授	災害時における産業保健支援チームの制度化に向けた研究
ER25-046	立石 清一郎	災害産業 保健センター	教授	女性の健康相談支援体制に関する専門職への調査
ER25-036	西野 達士	臨床検査・輸血部	主任 (医療技術職)	全自動自己生体組織接着剤調製システムにて作製した自己 フィブリン糊の使用に関する調査研究
ER25-032	田口 要人	産業医実務研修センター	助教	従業員参加型職場環境改善活動の実施における阻害・促進要 因分析と実装戦略の策定
ER25-033	五十嵐 侑	産業医実務研修センター	助教	産業医の倫理的葛藤経験の類型化に関する研究
IK25-004	田口 要人	産業医実務研修センター	助教	諸外国における工業用等エックス線装置使用の枠組みおよびそ の実態に関する調査研究
ER24-017	井上 彰臣	IR推進センター	准教授	職場における心理社会的な安全風土・リスクが労働者の健康 に及ぼす影響:前向きコホート研究
ER25-027	財津 将嘉	高年齢労働者 産業保健 研究センター	教授	労働者の健康関連アウトカムと関連する労働環境および修正可 能な因子の包括的分析